



Navigation

[Previous 月](#)
[Next 月](#)
[Today](#)
[Archives](#)
[Admin Area](#)

Categories

[All](#)
[General](#)

灰皿町の本

●[幻想小説『なめくじキーホルダー』 清水鱗造](#)

●[「週刊読書人」詩時評 一九九二-一九九三年 清水鱗造批評集 第一分冊](#)

Search

検索キーワード

検索

医薬

ビリビリッ
チクチク
つらい肌に
整菌
スキンケア

赤ちゃんにも！

プレミアム
ボディソープ

プレミアム
ローション

プレミアム
ボディクリーム

肌の善玉菌を整え、潤う。
Human Flora

まずは5日分お試し

1, < 詳細

Login

ログインID:

パスワード:

Suigara-yama_99(Shinsuke_Kirita)

2004-12-21

おもひで家族

秋たけなわのころ、昨今の家庭用入浴剤ブームと、昭和レトロブームと、ミニチュアのフィギアやジオラマブームにあやかったような、ということは、私の趣味にぴったりのような(^^;「昭和おもひで家族」という面白いおまけつき入浴剤をいただいた。



箱の中には、入浴剤一袋の他に、昭和40年代の家屋の室内や調度品を再現した組み立て式のミニチュアのジオラマやフィギアが入っている。ところがこれがなかなか曲者で、ワンパックには、茶の間二種、風呂場、トイレ、キッチンと種類があって、ひとつの箱には、それぞれ家屋の一部分しかはいっておらず、1軒分の家を完成するには5組揃える必要があるというもののなのだった。

しかも外箱には、中に何が入っているかの表示はないので、開けてみないとわからない。最初に入っていたのは、コタツやテレビのある居間の一部を再現したセットだったのだが、これだけでは、なんとも寂しいので、売っている店をお聞きして、そのご外出ついでに二回ほど立ち寄って、これまでに、つごう四箱買ってしまった(^^;。買っても中身が重複することがあるので、これははまるとかなり危ない世界だ。。



これまでに揃った三種類。右から、茶の間、風呂場、トイレのユニット。これを拡大して紹介してみよう。



☐ このPCを他の人と共用する

ログイン

Powered by



四畳半のお茶の間。コタツにはミカンがのっている。画像は欠落部分（左の壁や畳の一部）をそれらしく修正してあります。



お風呂場のセット。こういうユニットバスが登場したのは、昭和40年代。それまでは銭湯に行くか、どの家庭でも薪を竈に焚きつけていた。洗濯機が洗い場にあるのがそれらしい。狭いながらも楽しい我が家」というところ。



トイレは、壁の片面を外して撮影してみた。くみ取り式で、蓋もついている。そういえば、正面の壁には低い位置に換気のための小窓があって裏庭の緑がのぞいていたなあ、などと思い出す。

「食玩」という言葉があって、菓子類におまけをつけた商品一般をいうらしい。コンビニなどにも今やどちらが主役かわからないような、おまけつきお菓子を売っているが、この入浴剤もそのバリエーションといえるだろう。こうした巷にあふれている精密なミニチュアのおまけ類はほとんどが中国製だという。そういわれて、トイレの正面にあるカレンダーを良く見ると、昔の日本ではまず見かけないデザインで、真っ赤というのも、いかにも中国という感じがしてくる。全体の明るい壁の配色といい、椅子とベッドという生活様式の違いはあれ、この家は今の中国にあってもおかしくない気がしてくるのだった。

12:22:47 - kirita - 7 comments